

発行 新潟県川口町長 青柳 弘
編集 川口町役場総務課
(〒949-75 ☎0258(代)89-3111)

固定資産課税
台帳の縦覧

あなたの財産を
お確かめください

三月二日から二十三日まで

平成四年度の固定資産(土地・家屋・償却資産)課税台帳を次のとおり縦覧に供します。お確かめください。

- 期間 三月二日から三月二十三日まで(二十一日間)
- 時間 役場の執務時間内
- 場所 役場総合窓口

問い合わせ下さい。

☎〇二五―二六六―〇〇四七

「育児休業等に関する法律」がスタート
いよいよ、この四月一日から育児休業法がスタートします。その内容は次のとおりです。

- 一歳未満の子を育てる男女雇用労働者は
・育児休業を申し出ることが出来ます。
 - 事業所が設ける勤務時間の短縮等の措置の適用を申し出ることが出来ます。
 - 規模三十人以下の事業所は三年間、右の適用が猶予されます。
- 詳細は新潟婦人少年室へお

加をお待ちしています。

●日時及び会場

小出席場
三月十六日(月)
午後一時三十分～四時

於 新潟県小出合同庁舎

●申し込み先

県商工労働部労政課(☎〇二五―二八五―五五一一又は新潟少年室(☎〇二五―二六六)〇〇四七へ電話で。

●主催

新潟県・新潟少年婦人室

乗車券の「発売時間」が変わります
三月十四日(ダイヤ改正)から

JR・越後川口駅

JRでは、三月十四日からダイヤを改正します。これとあわせて、越後川口駅での乗車券等の発売時間(終日発売)が次のように変わりますので、お知らせします。

●乗車券等の発売時間

午前七時から午後八時まで
なお、特急券・指定券は早めにお買い求めくださるようお願いいたします。

県立小出高校
定時制二次募集

●願書の受付
三月二十一日(土)～二十五日(水)正午まで

●学力検査日及検査教科
三月二十六日(木)
国語、数学、社会

●当日の受付
八時三十分～九時まで

●合格発表
三月二十六日(木) 午後五時

●出願手続き
在学(出身)中学校又は小出高校定時制(☎〇二五七九―二二〇二二〇)に問い合わせください。

軽自動車税……………

バイク・耕うん機・軽四輪の「廃車届・名義変更届等」の手続きは……3月中に!!

軽自動車税は、毎年4月1日に所有していた人に課税されます。

バイクや軽四輪を売買、廃車しても手続していただかないと、廃車済と誤って車や、他人のものとなっている車の税金を自分で納めなければなりません。手続きの済んでいない方は、お早めに届け出しましょう。

- ※手続きは――
- ・125cc以下のもの……………役場財政課
 - ・125ccを超えるもの……………購入店などで手続きをしてください。



2月23日(日)
田麦山小学校スキー大会
「ミカン拾い」

今年は暖冬!!スキー大会も危ぶまれたが?この日、積雪は約1mに達し上々のコンディションの中で行われた。お父さんやお母さんも参加し、レースやレクリエーションに見物たちは大張り切り、楽しい1日を過ごした。
(ちなみに昨年の同日現在の積雪は約2m)

おもな内容

- 高齢者生産活動施設がオープン……………2～3
- ふるさと創りと人材育成に向けて……………4～5
- 環境美化・ポスター・書き初めで表彰……………6～7
- スポーツコーナー……………8～9

- みんなのコーナー……………10～11
- 明るい家庭づくり作文コンクール……………12
- 保母さんの自作自演の人形劇……………13
- お知らせコーナー……………14～16

人口	6,423人	平成4年2月20日現在
男	3,147人	
女	3,276人	
世帯数	1,526戸	



▲「しめ縄講習会」
高齢者生産活動施設のオープンを迎えて、早速しめ縄づくりに取り組むお年よりの皆さん。講師に白倉しめ縄生産組合（川西町）の皆さんを招き、手ほどきを受けながら、一生懸命しめ縄づくりに取り組んだ。

る特産品やアスパラ、各種農産物の集出荷をはじめ、ワラ細工、民芸品等の作製などに取り組み、その本格的な生産活動の軌道に向けて、生産・加工体制、販売、市場調査、就業者の確保にあたるなど、就業機会の拡大を図ることとしている。

また、就業者のバスでの送迎をはじめ、加工技術の習得のための研修や勉強会を行うなど、就業者の便宜や生産性の向上を図るとともに、町特産品の開発などにも取り組み、高齢者に潤いと活力に向けての積極的な取り組みが行われる。

農地流動化による農地の有効利用

作れない人は貸して農地の有効利用

出し手のメリット

1. 期限がくれば離作料なしで確実返還
2. 農地法の許可不用

作れる人は借りて規模拡大

受け手のメリット

1. 安心耕作、規模拡大
2. 機械の効率利用
3. 生産コストの低減



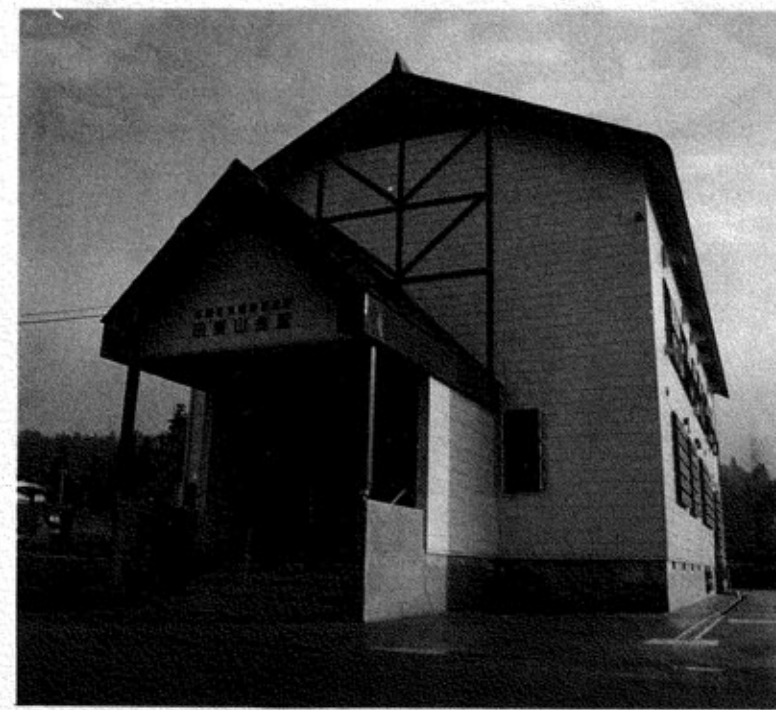
従来、農地はいったん貸すと地主は期間がくると、必ず貸した農地が返るとい保障があるので、安心して次の貸し借りに入れます。こうして短い貸し借りを繰り返すことにより、お互いの信頼も深まり実質的に賃借人に安定した耕作権を保障するのです。利用権で農地を集め、何回も貸し借りをすることにより規模拡大が実現されるわけです。そして段々と長期の賃貸借に移行していくわけです。

- 農地の移動については、すべて農業委員会の許可が必要です。
- 農地法第三条 農地としての売買、賃貸借、使用貸借等
- 農地法第四条 農地を自家作業場、物置等に転用する場合
- 農地法第五条 農地を他の人に売渡して住宅や資材置場とする場合には通常一〜二か月かかるので申請は早めにしてください。
- 農地の移動を無断で行わないますと農地法違反となり処分を受けることがあります。
- 農地法の許可を受けても登記しないものがまれに見られます。未登記のままにしておくと後々問題が生じることがありますので、必ず登記まで完了させて下さい。
- 農地についての相談は地元農業委員または農業委員会事務局(役場産業課内)で受付けています。

農用地利用増進事業による利用権とは安心できる農地の貸し借りです

従来、農地はいったん貸すと地主になかなか返ってこないといよく言われました(期間十年以上の定期賃貸借は除く)これを農用地利用増進法では約束の期間がくると離作料もなしで必ず返ってくる新しい農地の貸し借りのシステムにしたものです。

農地の移動に注意



▲「高齢者生産活動施設」が完成立派な施設がオープンした。

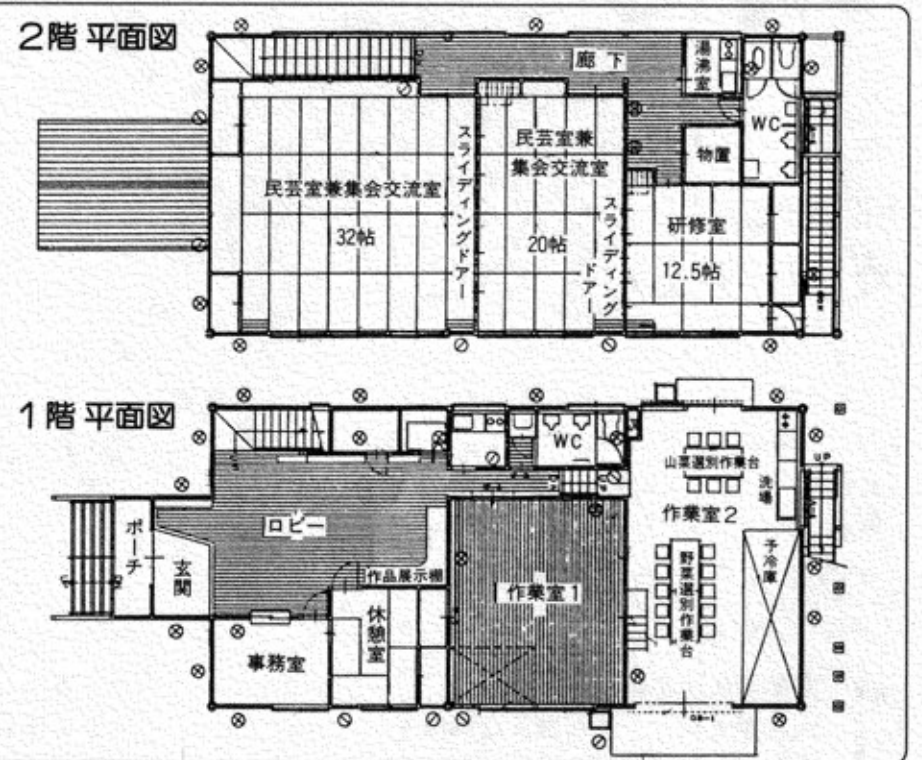
今年度の町の重点事業の一つとして、田麦山地区で建設が行われていた「高齢者生産活動施設」が完成し、このほどオープンした。高齢者の就業の場、生きがい対策、雇用の拡大、地域農業の振興など、農村地域活性化の拠点の一つとして、大きな期待が寄せられているとともに、県内では初めての施設として注目されている。

高齢者生産活動施設が県内では初めての施設

高齢者に潤いと活力

同施設は、県の補助事業(山間地域農地流動化条件整備事業)を導入して建設が行われ、山間地域の農地流動化を促進しながら、これに対応した就業施設の整備を行い、就業機会の拡大を図るなど、生産性の高い山間地域農業の実現を目指す同事業の一つとして、県内で初めて当町に導入された施設です。建物は木造二階建てで、二階は「集会所」の機能も有し、農産物や町特産品の「集出荷場」、「生産加工施設」が整備され、コミュニティの場として、就業機会の確保の場としての、一石三鳥の立派な施設が完成した。

「集会所」、「集出荷場」、「生産加工施設」を備えた一石三鳥の施設



総事業費は約五千七百万円。なお、同施設の建設にあたって、同地区の中心的な集会所「田麦山生活改善センター」の老朽化が進み、その改築が地元から強く要望されていたもので、同施設の完成により地元では大きな喜びでオープンを迎えた。

高齢者の生きがい対策を推進

町では、この施設の運営にあたり、同施設を有効に活用した高齢者の生きがい対策に力を入れるとともに、モロヘイヤ等の転作田から生産され



▲総会で講話を行う青柳町長

川口町のあしたを創造する 審議会(明創審)総会

各専門部会活動状況報告 意見交換を行う

川口町のあしたを創造する審議会(山下会長)は二月四日サン・ローラ川口で総会を開き、各専門部会における活動状況報告を行い、今後の取り組みなどについて意見交換を行った。

ふるさと創りと 人材育成に向けて

開会にあたり山下会長は、これから本格化する労働力不足や高齢化問題など、かつて経験したことのない厳しい状況を迎える。身近かで、できることから手を打っていかなくてはならないが、こうした中で同審議会は時を得た会であり、いろいろな知恵、工夫を出しあって川口町が発展していくよう創造してもらいたいと述べ、情熱をもってやっていきたいと挨拶した。

専門部会の活動状況について、各部長が報告を行い、



▶「情熱をもってやっていきたい」と挨拶する山下会長

第一専門部会

◎検討事項

①リゾート開発について
②現在の問題点

・ 社会環境の変動(バブルの崩壊)

・ 自然保護と地域活性化の調和

・ 大手企業の経済理念の優先

③川口町にふさわしいリゾート

・ 町独自の資源を活用する

・ 既存施設の有効利用を図る

◎今後の活動方針について

①視察をふまえて

・ 視察をしてみると、どの地域も自然などの独自の特色を生かして、地域づくりやイメージづくりをしている。

・ 地域の見直しや掘り越こしをする必要がある。

②取り組み

・ 「写真展」などにより、郷土を見直し、新しい地域の魅力を発見し活用を図る。



▲「第1専門部会」リゾート開発について報告を行う阿部 部会長

第二専門部会

第二部会では、①各課の担当事務、②リゾートと都市計画、③街なみ整備を検討事項として進めてきており、この中で次のような報告が行われた。

- 子供たちが住みたい町づくりを目指す。
- 人口は横ばいであるが、人口を増やしていきたい。
- 人口が少なく仕事もうまくいかない。
- 嫁不足が深刻(二十代、四十代)

この中で、三十代から四十代の後半になっても嫁さんが見つからない。同部会ではこれを大きく取り上げ、取り組



▲「第2専門部会」嫁さん問題でイベントを行いたいと報告を行う渡辺部会長

みを行う。

● 出会いふれ会いバスツアーの企画と実施。

● 視察研修の実施

● 地区の活性化

例えば年間を通してできるスケート場、行列ができるラーメン屋など、川口でなければ楽しみや味わえない町独自のものを起こしていきたい。

● 町並み整備促進協議会 住環境、水準の向上を目指す。

また、この中で、人口の増加、大会社の誘致、雪に強い町づくりなどが報告され、そして同部会では、若い皆さんのUターン大歓迎をテーマに、今後頑張っていきたいと報告した。

第三専門部会

第三部会では、①生涯学習の現況等、②スポーツ、③文化、④町の行政組織、各課の業務などの検討や学習に取り組んでいる。

特に報告の中で、学校の週休二日制に対応した、スポーツの振興について意見発表が



▲「第3専門部会」内藤部会長

行われた。

第四専門部会

第四部会では、「特別養護老人ホーム」の建設について検討を行っており、特別養護老人ホーム小栗田の里や小千谷市西山斎場などの社会福祉施設や衛生施設の視察について報告した。

この中で、身近な施設の視察を通じて勉強になったことが沢山あり、大変よかったことが感想として述べられ、今後の活動として、視察研修で学んだことを基に、これから町がやろうとしていることを知りながら、町づくりにつ



▲「第4専門部会」視察研修を基に勉強していきたいと報告を行う岡村部会長

なお、各部会の報告に先立ち、青柳町長の講話が行われ、健全財政の確立や減税政策、基金など、町行財政全般について話を聞き勉強を行った。

いて勉強していきたいと報告した。

◎施設の研修視察施設名

- ①小千谷地域広域事務組合施設(清流園、時水清掃工場、消防本部)
- ②小千谷市西山斎場
- ③特別養護老人ホーム小栗田の里
- ④下水道長岡浄化センター(県下水道公社)
- ⑤長谷川邸(越路町国指定重要文化財)

この中で、公共下水道、集落排水などの下水道整備や高齢化社会を迎えて、公共投資が行われる中で、受益者負担に係るものについては、負担が増加しないよう努めていることや、これまで進めてきた定住構想の条件整備により、定住構想の先進地として、全国から六〇〇を超える市町村・団体が当町を訪れ視察をしていること。また、新年度に計画されている高齢者生活福祉センターの建設と、これと併設して建設される健康センターについて説明を聞くなど、行政の取り組みについて学習した。

最後に質疑、意見交換が行われ、視察研修について、「百聞は一見にしかず」他の町村の施設を見ることが大切であることや、ディーサービスの来年度実施、商店街の活性化に向けた行政の対応などについて意見交換がもたれた。また、町長から特に、明日の川口を創造する会から、今日のことを知りつくして、明日を考えたいと、視察研修を積極的に進めたいと、同審議会の活躍に期待を寄せた。

川口小学校が

環境美化教育 実践優良校に



空き缶の回収など、リサイクル運動を通して、地域の環境美化活動に取り組んでいる川口小学校が、県の推せんを受けて、環境美化教育・実践優良校に選ばれ、その表彰状の伝達式が二月十二日、役場で行われた。

この表彰は、空き缶や空きびんなど、捨てられた容器による環境問題に取り組んでいる、社団法人食品容器環境美化協会が、美化運動の一つとして毎年行っているもので、今回は全国で五十二校が選ばれた。



▲環境美化教育・実践優良校表彰の「伝達式」
児童とPTAの代表者が出席して行われ、
青柳町長から表彰盾が伝達された。

児童とPTAが協力して

優良校に選ばれた川口小学校は、プルリングとアルミ缶などの回収を行い、リサイクル運動を展開。運動を通して児童とPTAが一緒になり、地域の美化活動に積極的に取り組むとともに、社会教育の一環として、児童の社会参加に取り組みなど、美化教育と実践活動を進めてきており、これまでに大きな成果を上げている。昨年は、同校の統合三十周年を迎え、その記念事業の一つとして、アルミ缶などの回収による販売代金で、車イス二台を購入し、町に寄贈するなど、リサイクル運動による、社会福祉にも貢献している。

この日、伝達式に児童・PTAの代表が出席。青柳町長から児童会長の浅間敏一君に表彰の盾が贈られた。町長から「努力が報いられおめでとう」と祝福を受けて、浅間君は「これからも空き缶回収を続けていきたい」と喜びを語り、美化活動の取り組みに意欲を燃やしていた。

四月一日から火災予防条例の一部が変わります

一部が変わります

- この度、火災予防の強化を図るため、火災予防条例(小千谷地域広域事務組合・小千谷市・川口町・山古志村)の一部が改正され、この四月一日から施行されます。その主な内容は次のとおりです。
- ① 火を使用する器具、設備について
 - 液体燃料(灯油、軽油等)、気体燃料(都市ガス、プロパンガス等)、電気を熱源とする設備類の「点検安全装置」、「立ち消え安全装置」、「過熱防止装置」などを設けなければならないこと。
 - 一定規模以上の厨房設備における、排気ダクトに「グリクフィルター」、「防火ダンパー」、「自動消火装置」などを設けなければならないこと。
 - 内燃機関によるヒートポンプ冷暖房機、放電加工機、発電機設備などについて、新しい基準が設けられたこと。
 - また、これらの火を使う設備などの点検、整備は、一定の資格を持った者でなければならないこと。
 - ② 火の使用制限について
 - 重要文化財等の周囲や内部で火を使うこと、危険物の持ち込みの禁止に加え、喫煙等も禁止することができること。
 - 空家火災の防止のためにその所有者や管理者は、人が出入りできないように、鍵をかけるなどの管理をするよう義務付けられたこと。
 - ③ 避難管理
 - デイスコ・ライブハウスなどの施設において、災害が発生した場合、特殊照明や演奏の停止、非常口の開放などが自動的に又は容易にできるようにしなければならないこと。
 - なお、排気ダクトのグリクフィルター、防火ダンパー等の基準については、平成五年三月三十一日までに改善しなければなりません。
 - 詳しいことについては、消防本部(☎八三二二二二)に予防課まで。



交通安全 ポスター

山田 加菜さん(川小一年) 県警本部長賞を受賞

特別賞は四年連続 川口小は 優秀学校賞に

平成三年度新潟県小中学生交通安全ポスターコンクールは、農業協同組合と県生命共済農協連合会が主催、県教育委員会と県警察本部、各新聞社などが後援して行われ、約三千点の応募作品の中から、川口小学校一年山田加菜さんの作品が県警本部長賞に選ばれました。

特別賞は県知事賞、県教育長賞、県警本部長賞の三賞があり、各学年ごとに三賞のうちの一つが選ばれることになっており、加菜さんの作品は小学一年の部では最高の賞となつています。

今回で六回となるこのコンクール、当町から特別賞入賞は四年連続で加菜さんが六人目。新潟市で行われた表彰式で賞状を手にした加菜さんはうれしそうに顔をほころばしていました。



▲喜びの加菜さん

このほか個人の入賞は六人、また、川口小学校が、優秀学校賞の一枚に選ばれました。

全国展でも入賞

県コンクールで特別賞となつた加菜さんの作品は、全国コンクールに出品されてこども銅賞に輝き、県内ただ一人入賞の栄誉をうけ、川口小学校も同じく優秀学校賞となりました。なお、当町からこのコンクールでの全国入賞は二回目、加菜さんが二人目となっています。

県コンクール入賞者

- 県警本部長賞
山田 加菜(川口小一年)
金賞 関 亜紀奈(川口小二年)
銀賞 喜多村祐美(川口小四年)
銅賞 飯塚 有希(川口小二年)
佳作 服部 麻美(川口小六年)
星野 和恵(川口中一年)

県書き初め大会 で特選

平沢 寛美さん (川中)

の作品が特別賞に

新潟県書道教育研究会主催の県書き初め大会で、川口中の三年の平沢寛美さんの作品が特別賞の特選に選ばれました。

この大会は県内から九万点余の作品が応募され、寛美さんの作品が大賞、準大賞に次ぐ特選となったもので、寛美さんは昨年この大会で準特選を受賞しています。



郡展では

平沢 烈くん(川小)

北魚沼郡小中学生書き初め展で、当町から次のとおり入賞がありました。

特選、書道研究会賞
川口小学校三年 平沢 烈



▶郡書き初め展で特選に選ばれた平沢君の作品



中学校スキー大会は、少雪に悩まされながらも順調に日程が消化され、県大会において川口中学三年の佐藤秀明君が昨年と同様にアルペン種目で大活躍し、大回転競技で優勝、回転競技準優勝の快挙を成し遂げました。

郡大会はアルペン種目だけで、佐藤君を除く三選手が出場して、それぞれ順当な成績をあげて中越大会へ進み、中越大会のアルペン種目では、佐藤君を含む三選手が回転競技で上位に食い込み、大回転競技は予想に反して上位を他に譲りましたが、三人そろって県大会の出場権を得ることができました。

純ジャンプは少雪のため中止となり、複合競技は距離競走のみが行われ、三選手が健闘しました。

県大会で 実力を示す

県選抜総合体育大会を兼ねた第三十五回県中学校スキー大会

第35回県中学校スキー大会

県大会

大回転で優勝

回転は準優勝

佐藤秀明君(川中)

が快挙!!



大回転で二連覇を達成した佐藤君。全国大会出場が決まり、その活躍が期待されている。ガンバレ！佐藤くん。

大会は、アルペン種目は北魚須原スキー場で、他種目は中魚グリーンピア津南クロスカントリーコースと南魚石打丸山シャンツェで行われました。アルペン種目は、昨年の大回転と大回転競技の二冠を制した佐藤秀明君に、連覇の夢と大きな期待が寄せられているところと、成長ぶりをみせました。

一本目巧みなスキー操作で約一秒の差をつけてラップを奪いましたが、二本目の合計タイムで〇・〇三秒のわずかな差で優勝を逃したのは本当に残念でした。大淵貴幸君と星野博之君の二人が十二位と十四位につけて、成長ぶりをみせました。

大回転競技は、佐藤君が急斜面、緩斜面ともうまくスピードに乗り、他を寄せつけずに優勝して県大会二連覇を飾り、エースの底力をみせてくれました。星野君は十六位に入りました。

川中 全国大会に 五年連続出場

Table of results for the prefectural ski competition. Columns include: 回転 (回転), 大回転 (大回転), 複合(距離のみ) (複合), 純ジャンプ (純ジャンプ), 複合 (複合), 回転 (回転), 大回転 (大回転), 複合(距離のみ) (複合), 純ジャンプ (純ジャンプ), 複合 (複合).

郡小学校スキー大会

クロカンで二年連続優勝

関裕樹くん

(川口小六年)



優勝した関くん

本年は少雪のため全般的に練習不足で、雪の多い入広瀬村をはじめ只見線沿線の学校がすべて上位を占めたのが大きな特徴となりました。入賞者は次のとおり。

入賞者

- クロスカントリー
六年男子
1位 関 裕樹(川口)
11位 浅間 敏一()
14位 大淵 和幸(田麦山)
18位 桜井 新三()
六年女子
16位 真島 文恵(川口)
17位 桜井亜由美(田麦山)
五年男子
10位 森山 雄治(田麦山)
14位 岡村 崇志(川口)
15位 涌井 一義(田麦山)
16位 佐藤 郁夫(川口)
18位 大淵 俊彦(田麦山)
19位 岡村 英尚(川口)



▲「郡小学校親善スキー大会」郡内18校から5、6年生610人の選手が参加。

郡中新人戦で 川口勢が活躍
郡内の中学一、二年生による新人スキー大会で、川口勢が活躍し、星野博之君がアルペン競技で二種目に優勝しました。入賞は次のとおり。

Table of results for the junior ski competition. Columns include: 大回転 (大回転), 回転 (回転), クロカン男子 (クロカン男子), クロカン女子 (クロカン女子), リレー (リレー).

高校スキーでは 笹崎貴之君が活躍



また、第四十七回国体冬季スキー競技会の予選を兼ねた県スキー選手権大会は、妙高高原町の赤倉チャンピオンスキー場で、笹崎君は大会の二つの全国大会に出場しました。

町の教育委員会と教員協議会が行った明るい家庭づくり作文コンクールで、泉水小学校二年の広井なつえさんの作品が特別賞に選ばれました。

自分と家族のかかわりなどをテーマに

このコンクールは、家庭のようすや親の仕事、自分と家族のかかわりなどをテーマに募集したもので、作文を書くことによって、家庭生活のあり方や家庭における自分の役割について考え、明るい家庭づくりに参加する態度を身につけることをねらいとしています。

明るい家庭づくり作文コンクール特別賞に

広井なつえさん(泉水小二年)

応募作品の中から特別賞の教員協議会長賞一編、優秀賞八編、佳作二十一編が選考され、このほど入賞者に賞状が贈られました。

入賞者

教員協議会長賞
泉水小二年 広井 なつえ



「じょうじょう」
なつた
くさりあみ

二年 広井なつえ

うちのおばあちゃんは、あみもの、はりしごと、はたけしごと、田んぼのしごと、ごはんづくりと何でもできちゃうスーパーおばあちゃんです。きょうは、おばあちゃんにあみものをおそわることになりました。はじめにくさりあみをしました。まず、毛糸をむすんであなをつくりまわす。あ

なにかぎぼうを入れて糸をひっかけてあなにくぐります。これをくりかえしていくと、くさりあみができます。おばあちゃんは、のんびり「かぎに毛糸をよくひっかけて力を入れるようなかんじであみなさい。」といいますが、ついイライラして、わたしは、

「こんなむずかしいのできないよ。」

と、いってしまいます。すると、「やってみれ。おばあちゃんだってはじめはうまくできなかつたけどずっとれんしゅうしたからうまくなったんだよ。」

うちのおばあちゃんは、ほんとにあみものがじょうずなんです。でもいそがしいから、長い時間をかけてすこしずつあんでいきます。きょうはちよつきができました。おねえちゃんもおばあちゃんにおそわってマフラーをつくりたいといっているのです。

わたしは、思いなおしてまた、がんばってあみはじめました。はじめはうまくできなかつたけどやっているうちにだんだんくさりの大きさもそろうようになりまわした。おばあちゃんは、にこにこ顔で「さつきよりじょうずになっただね。」

とほめてくれました。くさりあみだけではつまらないのでなにかほかのものもつくれるかなあと思つて考えました。そしたら、いいものを

思いつきました。それはあやとの糸をつくることでした。

さっそくわたしは、あみはじめました。少しあなが大きいくさりもあつたけど七十七センチくらいあやとの糸がじょうずにできました。わたしは、先生にもつくつてあげたらきつとよろこぶと思つてあんでみました。先生のは、すこく長くできました。学校にもつて行つたら先生は、

「わあ、うれしいありがと。」といつて、さっそくあやとりをはじめました。「くさりあみのあやとりはすこくやりやすくていいな。なんでもできちゃうよ。」

と、いいました。先生がよろこんでくれたうれいな。くさりあみをおぼえてよかつたなと思ひました。うちのおばあちゃんは、何でもできちゃうスーパーおばあちゃんです。こんどは、何をおしえてもらおうかな。

やっぱり、あみものをつづけることにしよう。くさりあみだけじゃなくて、いろいろなあみ方にちようせんすることにしよう。

保母さんが

創作劇を上演!!

自作自演の人形劇

町の保育所に勤務する保母さんが、手作りの人形を使って幼児向けの人形劇を創作、町内の保育所を巡回上演して好評をよみました。

四年前から年中児を受け持つ保母が、毎年創作劇を企画立案して上演してきているものです。

夜遅くまでリハーサル

六月頃からシナリオ書きと



劇「こぶ取りじいさん」等身大のぬいぐるみ人形を巧みに動かし、迫力の演技に園児や参観者から大きな拍手を受ける

人形作りが始まり、舞台小道具や音響効果も自作で用意、十二月から下げいこと本格的なりハーサルを夜おそくまで何回もやつて上演にこぎつけたこと。

今年「こぶ取りじいさん」を上演

この度の劇は「こぶ取りじいさん」で、等身大のぬいぐるみ人形を使い、ぬいぐるみの中に入るのではなく自分が黒子になって人形を動かす方法が用いられ、大きな人形が保母の手足と同じに動き、一人で三連体の人形が動くさまはスケールも大きく迫力があつて、園児や参観者から大きな拍手をうけていました。保母さんたちも、苦勞の甲斐があつたと喜び、機会があつたら老人福祉施設などを訪問して、上演してみたいと話しています。

保母会ではこの創作劇を、魚沼視聴覚センター(南、北魚、小千谷地区)の発表会で毎年上演しており、昨年の棒人形による「ジャックと豆の木」は、参加演劇の中では大作で大きな評価をうけたところで。こうした保母さんたちの苦勞や活躍で、園児も心豊かな立派な子供に育つてくれることでしょう。



▲指導員(町スキー協会)の手ほどきを受ける参加者

初心者向け親子スキースクール

今年で二回目

小中学生と一般を対象にして、初心者向けの親子スキースクールが行われ、参加者は熱心に滑ることを学びました。昨年に続いて第二回目のこのスキースクールは、スキー協会の協力を得て公民館が主催したもので、今年も雪が少なく川口スキー場が使用できず、グリーンピア津南スキー

～親子のスキースクール～



場まで出向いて一月と二月に実施、幸いの晴天に恵まれて参加者はまっくらに日焼けするほど。協会指導員から手ほどきを受けて子どもたちはすく滑れるようになり、楽しい親子のスキースクールとなりました。

がん健診を受けよう



亡くなられた方の

六十三%が 三大成人病

川口町で、去年一年間(平成三年一月から十二月まで)に亡くなった人は五十二人でした。その中で、三大成人病といわれている「がん」で亡くなった人が十六人、「脳卒中」で五人、「心臓病」で十二人の方が亡くなられ、全体の六十三%となっています。

また、各疾病の平均死亡年齢を見ると、がんが六十六歳で、次に脳卒中七十三歳、心臓病七十八歳、肺炎八十七歳と続き、がん死亡は他の疾病に比べて若く、非常に残念です。

早期発見

町では、胃がん・肺がん・子宮がん・乳がんの健診を積極的に勧めていますが、毎年受けて安心できるまでにはなっていないようです。病

国民年金保険料が四月一日から九、七〇〇円に変わります

国民年金の定額保険料が、四月分から九、七〇〇円になります。

国民年金を支払うための費用は、加入者の皆さんが納めた保険料と国の負担とでまかなわれています。ますます進展する高齢化社会にあつて、長期的に安定した年金制度を維持していくためには、年金額とその財源である保険料のバランスを保つていかなければなりません。

ですから、年金額の引き上げや受給者数の増加に対応するためにも、保険料を毎年少しづつ引き上げていくことが必要になります。

それと同時に、物価の上昇があれば、あわせて保険料額も改定することになっていきます。

これらを踏まえ、平成四年度の保険料は一月九、七〇〇円と決まりました。

なお、付加保険料は、今までと同様に一月四〇〇円です。

シートベルト着用推進キャンペーンクイズ

シートベルトの着用効果の正しい理解と着用推進のためのクイズを次のとおり募集します。

第一問

シートベルトなしで自力で耐えられる衝撃は時速約何kmの衝突?

- ① 7 km / H
- ② 27 km / H
- ③ 47 km / H

第二問

平成三年中における全国の自動車乗車中の死者のうち、シートベルトを締めていなかった人は、約何%?

- ① 40%
- ② 60%
- ③ 80%

第三問

自動車保険の搭乗者傷害保険に加入している場合、シートベルトを締めていると死亡保険金の額が、割増に

- ① なる
- ② ならない

第四問

シートベルトをしなない場合は、違反点数制度の対象に

- ① なる
- ② ならない

賞品 A コース 92 F1日本グラ

ンプリ自由席入場券100名 B コース マルチディスク プレーヤー 20名 C コース パーソナルカラーテレビ 30名

応募方法 官製はがきに、希望の賞品コース名、クイズの答え、あなたの住所氏名、年齢、性別、電話番号、職業を明記のうえ、〒106 東京都港区西麻布三

応募期間 平成四年四月一日(休)から四月三十日(休)まで

応募締切 四月三十日(休) (当日消印有効) * 当選者の発表は、商品の発送をもって代えさせていただきます。

運転者がシートベルトなし

暮らしのワンポイント

きれいに磨かれた窓ガラスは、気持ちのいいものです。しかし、いざガラスふきになると、意外に重労働です。手際よく、要領よくふくことがポイントです。

窓ガラスの掃除と磨き方

窓ガラスの水ぶきは、水を少し含ませた湿りぞうきんでふきます。水の跡が残らず、きれいにふけます。油汚れは、ガラス用の洗剤をスプレーし、その上から料理用のラップを十分程度張りつめます。ラップをはがして乾いた布でふけば、油が洗剤でゆるんでいるので、簡単に汚れが落ちます。ラップの代わりにティッシュなどの紙を使うと、ガラスに張りつき、はがすのがたいへんです。



窓ガラスの隈の汚れは、水に濡らした布に塩をつけてこすりましょう。塩が汚れを吸収する働きを利用したもので、汚れが簡単に取れます。模様があるガラスは、凸凹に汚れがたまり、水ぶきなどではなかなかきれいにならないものと。窓ガラスをきれいにするコツは、ガラス全体に霧吹きで水をかけ、ゴムベラで上から下へしゅしゅとこすります。ホコリと汚れが一掃に取れ、見違えるほどきれいになります。なお、汚れた水が流れ落ちないように、下にタオルを当てておきましょう。後は、乾いた布で磨きます。

ラップと塩で汚れ落とし

大きな窓ガラスを要領よく磨くには、ガラス用洗剤を×印に大きく吹きつけ、乾いた布を四角に畳み、洗剤をのばすように外側から内側に四角くふきまします。そして空ぶきをしま空ぶきして仕上げです。

就学費の援助を行っています

小中学校の児童・生徒にかかる学費を援助する制度があります。学用品費、運動用具費、医療費、修学旅行費、給食費等が該当し、困難な家庭には一定の割合で町が援助をいたします。平成四年度に希望をされる方は、次に申込み又はご相談ください。 ● 教育委員会、学校、地区の民生委員

四月から「心配ごと相談」日が変わります

毎週火曜日と金曜日に行われている「心配ごと相談」の定例日が、四月から次のように変わりますので、お知らせいたします。

心配ごと相談日 毎週月曜日と木曜日です。

コンピュータ・カレッジ 信濃川テクノアカデミー 学生募集

労働省所管のコンピュータ・カレッジ信濃川テクノ・アカデミーは、開校三年目を迎えるこの三月には第二回卒業生が社会に送り出されます。優秀な情報処理技術者養成校として、大きな期待が寄せられています。

- ◆ 入学願書受付 三月二十七日(金)まで (定員に達し次第締切ります)
- ◆ 募集定員(全日制二年) 情報ビジネス科 五十名 情報システム科 五十名
- ◆ 選考日 三月七日(土)・二十一日(土)・二十八日(土)
- ◆ 学校説明会 二月二十三日(日) 午前十時～十二時
- ◆ 資料請求先 同校 千九四七 小千谷市上ノ山四一四一二 入学ガイド・ホットライン フリーダイヤル(無料) ☎〇二二〇一四〇五〇七〇